

NPO法人 広島市要約筆記サークル

# おいづる 中支部



活動の様子を紹介します



要約筆記ってどのような活動？



## 要約筆記とは？

聴覚障がいのある方(中途失聴者・難聴者)とのコミュニケーションの手段のひとつです。話している言葉の重要な部分を損なうことなく要約して文字にすることを「要約筆記」といいます。

話す言葉は1分間に300～350文字程度なのに対し、1分間で書けるのは60～70文字程度とされています。(2割程度！)

## どのような活動をしているの？

聴覚障がいのある方が参加される会議や講座などで、情報保障のボランティアをしています。

ふだんの定例会では、要約筆記の技術の学習や、難聴者の方との交流をしています。

また、手書きではなくパソコンのキー入力でおこなう「パソコン部」の活動もあります。

お仕事をされている方も、無理のないような範囲で参加されています。

紙とペンで始めるボランティアを、  
一緒に学んでみませんか？



▲グループ活動の様子。

筆記の手元を撮りこむ「OHC」という機械をテレビやプロジェクターにつなぐことで、リアルタイムで情報を伝えることができます。



## ◆活動日・活動場所は？

定例会は、

毎月第2土曜日の10時～12時

第4火曜日の19時～21時に

開催しています。

定例会の他、行政の要約筆記の養成講座に参加したり、情報保障のボランティア活動に参加しています。

## ◆見学希望や、問合せ先は？

中区社会福祉協議会/ボランティアセンターまでお気軽にお問合せください。

TEL 082-249-3114

FAX 082-242-1956